

講演者情報

ブルース・ブレア (Dr. Bruce Blair) (アメリカ)

博士。プリンストン大学「科学とグローバル安全保障」プログラム研究員。国際的な核廃絶運動、グローバル・ゼロの共同創設者。米務省国際安全保障諮問委員会委員を務める。

サンドラ・I・ブッチャー (Sandora Ionno Butcher) (アメリカ)

科学と世界問題に関するパグウォッシュ会議事務局長。パグウォッシュ会議では「パグウォッシュの歴史」プロジェクトの責任者も務める。

フランチェスコ・カロジェロ (Prof. Francesco Calogero) (イタリア)

カロジェロ教授は、パグウォッシュ会議の前事務総長(1989-1997)として、現在も評議会の特別評議員。1995年にパグウォッシュ会議を代表してノーベル平和賞の授賞式でメダルを受け取る。ローマ大学物理学名誉教授。

パオロ・コッタ=ラムジーノ (Prof. Paolo Cotta-Ramusino) (イタリア)

コッタ=ラムジーノ教授は2002年8月からパグウォッシュ会議事務総長を務めている。ミラノ大学数物理学教授、イタリア国立核物理学研究所上級研究員。パグウォッシュ会議事務総長として、コッタ=ラムジーノ教授は、核兵器及び他の大量破壊兵器の廃絶というパグウォッシュ会議の伝統を継承してきた。この分野では世界でも有数の専門家として、世界各地の研究機関、大学、政府機関で核軍縮や紛争解決について講演・講義を行っている。

ジャヤンタ・ダナバラ (Amb. Jayantha Dhanapala) (スリランカ)

ジャヤンタ・ダナバラ大使は現在パグウォッシュ会議の第11代会長を2007年より務める。ストックホルム国際平和研究所(SIPRI)理事会議長等、他の様々な国際機関の諮問委員を務める。国連軍縮担当事務次長(1998-2003)、米国大使(1995-1997)、国連大使(1984-87)などを歴任。

遠藤誠治

成蹊大学法学部教授。元日本平和学会会長。専門は国際政治学。

ヤルガルサイハニー・エンクサイハン (Amb. Dr. Jargalsaikhany Enkhasaikhan) (モンゴル)

エンクサイハン大使は、現在モンゴルの平和団体「ブルーバナー (NGO)」代表。モンゴル

の外交官として、様々な分野で活躍。モンゴル民主政府初代大統領の安全保障補佐官（1993-96）を務め、モンゴル民主政府の安全保障・外交政策構築に貢献。特に、モンゴルの非核兵器地位の設立に大きく貢献したことで知られている。その後、モンゴルの非核兵器地位の推進を支援する NGO「ブルーバナー」を自ら設立した。

アニタ・フリード (Anita Friedt) (アメリカ)

米国務省軍縮局首席国務次官補代理。同局に加わる以前は、2009 年から 2011 年まで国家安全保障会議 (NSC) で軍備管理・不拡散部長を務める。

ガズィー・ハマド (Ghazi Hamad) (パレスチナ)

パレスチナ (ハマース、ガザ) の外交専門家。

アニーサ・ハッスーナ (Dr. Anissa Hassouna) (エジプト)

「エジプト外交委員会」事務局長、「マグディー・ヤークーブ財団」事務局長。アラブ連盟アラブ経済統合委員会に長年勤務した後、「エジプト国際経済フォーラム」ゼネラル・マネージャーを務める。エジプト外務省外交研究所およびエジプト中央銀行バンキング研究所講師。

アキルベク・カマルディノフ (Amb. Akylbek Kamaldinov) (カザフスタン)

駐日カザフスタン共和国大使。カザフスタン外務省アジア・中東・アフリカ局副局长、首相府対外経済部部長等を経て、2007 年より現職。

片峰茂

長崎大学学長 (2008 年～)。主な研究テーマは、ヒトレトロウィルス、プリオン感染性因子。『ランセット』『ネイチャー』『サイエンス』等、影響力のある専門誌で研究論文を発表している。

ハーリド・キドワイ (Lt. Gen. (ret.) Khalid Kidwai) (パキスタン)

パキスタン国家指揮最高部顧問、元中将。戦略計画部門長を 15 年務めた。パキスタンの民間原子力エネルギー計画、および国家宇宙計画立案者。

岸田文雄 (交渉中)

外務大臣。自民党所属の衆議院議員。福田康夫内閣では内閣府特命担当大臣 (沖縄及び北方対策・規制改革・国民生活・再チャレンジ・科学技術政策) を務めた。

河野洋平

元衆議院議長（2003年11月～2009年8月）。元副総理大臣。元外務大臣。元国務大臣内閣官房長官。

小沼通二

理論物理学者。元パグウォッシュ会議評議会メンバー。慶応義塾大学名誉教授。明治学院大学国際平和研究所客員研究員。日本学術会議では原子核特別委員会の委員長を務めた。

黒川清

政策研究大学院大学客員教授。東京大学名誉教授。内閣特別参与（2006～2008年）や世界保健機関（WHO）コミッショナー（2005～2008年）を務めた。

サイデ・ロトフィアン（Prof. Saideh Lotfian）（イラン）

パグウォッシュ会議評議会議長。テヘラン大学教授（政治学）。

松井一實

2011年より広島市長。それ以前は厚生労働省総括審議官（国際担当）、中央労働委員会事務局長を務めた。

スティーヴ・ミラー（Dr. Steve Miller）（アメリカ）

博士。パグウォッシュ会議執行会議長。米パグウォッシュ委員会共同議長。ハーバード大学ケネディー行政大学院ベルファー・センターの国際安全保障プログラム統括責任者。

中村法道

長崎県知事。

アレクサンダー・ニキティン（Prof. Alexander Nikitin）（ロシア）

ロシア・パグウォッシュ委員会副委員長。ロシア外務省モスクワ国立国際関係研究所欧州・大西洋安全保障センター所長。

ラマムルティ・ラジャラマン（Prof. Ramamurti Rajaraman）（インド）

ジャワハルラール・ネルー大学名誉教授（物理学）。パグウォッシュ会議評議員。国際核分裂性物質パネル（IPFM）共同議長、インド科学アカデミー副会長を務める。

アブルアフラール・ラミズプール（Abul Ahrar Ramizpoor）（アフガニスタン）

国連アフガニスタン支援ミッション（UNAMA）人権委員。パグウォッシュ会議評議員。カーブル大学法学部講師を経て、アフガニスタン経済学・法学協会（AELSO）を設立。

アリー・アクバル・サーレヒー (Prof. Ali Akbar Salehi) (イラン)

イラン原子力機構 (AEOI) 機構長 (2009～10 年、2013 年 8 月～)。外務大臣 (2010～2013 年)。1998 年から 2003 年まで IAEA イラン代表。

リン・シュレーダー (Linh Schroeder) (スイス)

赤十字国際委員会 (ICRC) 駐日代表 (2015 年 3 月～)。1997 年より ICRC 職員として世界各地で活動。

フサイン・アル・シャフリスターニー (H.E.Dr. Hussain al-Shahristani) (イラク)

イラク高等教育相。副首相 (2010～14 年)、外相代理、石油相を歴任。

下村脩

ウッズホール海洋生物学研究所名誉教授。ボストン大学名誉教授。緑色蛍光タンパク質の発見により 2008 年にノーベル化学賞を受賞。

益川敏英

名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構長・特別教授、京都大学名誉教授、京都産業大学益川塾教授・塾頭。愛知県名古屋市出身。2008 年ノーベル物理学賞受賞。

レオン・V・シーガル (Leon V. Sigal) (アメリカ)

社会科学研究評議会が北東アジア協力的安全保障プロジェクト統括責任者を務める。1989 年から 1995 年まで『ニューヨーク・タイムズ』紙の編集委員。米務省に勤めた経歴を持つ。

ジェニファー・アレン・サイモンズ (Dr. Jennifer Allen Simons) (カナダ)

博士。サイモンズ財団総裁。核軍縮問題の専門家として活動。パグウォッシュ会議評議員を務める。

シャロン・スクアッソーニ (Sharon Squassoni) (アメリカ)

戦略国際問題研究センター (CSIS) 不拡散プログラム統括責任者 (2010 年～)。米国議会調査局 (CRS) や米務省、米軍備管理軍縮局 (ACDA) に務めた経歴を持つ。

マーク・スー (Dr. Mark Suh) (韓国)

韓国パグウォッシュグループの長、パグウォッシュ会議評議員、コリアトラストファンド議長。政治学者。民主平和統一諮問委員、ベルリン自由大学の主任研究員、韓国コーディネー

ターを務めた。

鈴木達治郎

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）長。前内閣府原子力委員会委員長代理。元財団法人電力中央研究所社会経済研究所上席研究員。パグウォッシュ会議評議員を務める。

田上富久

長崎市長。

朝長万左男

長崎大学名誉教授。日本赤十字社長崎原爆病院名誉院長。恵の丘長崎原爆ホーム診療所長。

ミハイル・ウリヤノフ（Mikhail Ulyanov）（ロシア）

ロシア外務省軍縮・軍備管理局長。軍事セキュリティーと軍備管理に関するウィーン交渉ロシア連邦代表団団長、ロシア連邦とアメリカ合衆国との間の戦略攻撃能力削減に関する条約二国間協議の長を務めた。

梅林宏道

ピースデポ特別顧問。前長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）長。核軍縮・不拡散議員連盟（PNND）東アジア・コーディネーター、国際 NGO「中堅国家構想（MPI）」国際運営委員、「アボリション 2000」グローバル評議委員を務める。

フランク・フォン・ヒッペル（Prof. Frank von Hippel）（アメリカ）

理論物理学者。プリンストン大学公共・国際問題教授。30 年以上にわたり核政策問題について研究。国際核分裂性物質パネル（IPFM）共同議長を務める。

山脇佳朗

被爆者。1945 年 8 月 9 日に長崎に投下された原爆で被爆する。日本政府非核大使第一号として、世界各地で被爆体験の講演を行う。著書「あしあと」、長崎文献社（2013/06）。

吉川弘之

前国立研究開発法人科学技術振興機構研究開発戦略センター・センター長。元日本学会議会議長。元国際科学会議（ICSU）会長。日本パグウォッシュ会議諮問評議会議長を務める。

ラッシーナ・ゼルボ（Lassina Zerbo）（ブルキナファソ）

包括的核実験禁止条約準備委員会（CTBTO）事務局長（2013 年 8 月 1 日より）、世界経済

フォーラム グローバル・アジェンダ・カウンシル (GAC) 共同議長。元 CTBT 国際データセンター局長。

趙 通 (Dr. Tong Zhao) (中国)

カーネギー・清華グローバル政策センター(北京)原子力政策プログラム研究員。スタント
ン核セキュリティーフェロー等の経歴を持つ。研究テーマは、核軍備管理、不拡散、ミサイ
ル防衛、戦略的安定性、中国の安全保障と対外政策等。

レザー・ズィアラン (Amb. Reza Ziaran) (イラン)

包括的核実験禁止条約機構準備委員会 (CTBTO PrepCom) 書記。前駐オランダ大使。

フサーム・ゾムロト (Amb. Dr. Husam Zomlot) (パレスチナ)

パレスチナ大使 (無任所)、ファタハ外交委員会実行委員長代理。パグウォッシュ会議評議
員。